



ごあいさつ

三重県 環境生活部
部長 田中 功

新年明けましておめでとうございます。

NPO法人三重県防犯設備協会の皆様におかれましては、健やかなる新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、会員の皆様には、平素から県政の推進に格段のご理解とご協力を賜り、安全・安心なまちづくりにご尽力いただいておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年5月には伊勢志摩サミットが開催され、「オール三重」で県民の皆様と一丸となってサミットを安全かつ成功裡に閉幕することができました。

三重県では、今後も「第27回全国菓子大博覧会・三重（お伊勢さん菓子博2017）」、「平成30年度全国高等学校総合体育大会」「第76回国民体育大会（三重とわか国体）」の開催など、国内外から多くの人々が三重県を訪れる行事が続きます。

県といたしましては、サミットで得た県民の皆様の安全・安心に対する意識や関心の高まりを、今後も引き継ぎ発展させ、県民や事業者の皆様との協創による、安全で安心なまちづくり事業を実施していきたいと考えております。

県内の刑法犯認知件数は、平成14年をピークとして、減少を続けておりますが、住宅を対象とする空き巣や忍込み、自動車盗、高齢者が被害者となる振り込め詐欺は増加しており、安全で安心な三重のまちづくりは、まだまだ道半ばであると感じております。

安全で安心な三重の実現のためには、県や警察はもとより、貴協会や関係機関、団体などがさまざまな施策を組み合わせながら、互いに手を携えて取り組むことが何より大切であります。

今後とも、貴協会が取り組まれている「防犯優良アパート認定制度」をはじめとする防犯意識の啓発や防犯機器の普及活動を積極的に推進していただき、自らの安全は自らが守るという自主防犯の気運を高め、犯罪に遭いにくい生活環境の確保を進めるために、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、貴協会のますますのご発展と会員の皆様のご多幸を心からお祈り申し上げまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

三重県の安全・安心まちづくり



NPO法人

三重県防犯設備協会

<http://www.miebouhan.com/>

■ ごあいさつ

NPO法人 三重県防犯設備協会
理事長 松吉 善弘

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は会員各位をはじめ関係機関の皆様には、さまざまなご支援とご指導を賜り厚くお礼を申し上げます。

いま、この原稿を書いているときに、米大統領選挙の投票結果が速報として報道されています。今年、英国のEU離脱問題や、仏の大統領選挙など、時代の大きな変節点となりそうな年です。グローバル経済から保護主義的な政策が広がり、様々な変化や社会の軋轢が予想されそうです。

国内においても、少子高齢化の波は高齢者医療費の増加や税収の不足など、従来の枠組みを大きく変えなければなりません。いつの時代でも人々の意識は常に変化し、気が付けば日本の良き習慣や人と人との関係がいつしか消滅している、そんな戸惑いを感じる今日この頃です。

今年「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム」が策定されます。

県内のボランティア団体、企業、関係機関、市町といった、さまざまな方々の協創を得て、防犯や交通安全の意識づくり、地域の防犯力を向上させる地域づくり、犯罪を防ぐ環境整備など、新しい活動の方向性が明示されてスタートします。

時代の大きな変化はまた飛躍するチャンスでもあり、会員各位の創意と情熱によりさらなる「安全で安心な三重のまちづくり」に向けて、大きな一歩を踏み出して頂きたいと願っています。

■ 三重県便り (三重県環境生活部寄稿)

三重県では、これまでも「犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり条例」に基づいて、県民や事業者の皆さんとの連携・協力により、防犯の推進に取り組んできました。

そのような中、昨年5月に開催された伊勢志摩サミットに向けては、県内各地で自主防犯活動団体等による防犯パトロールが展開されるなど、「自分のまちは自分たちで守る」という意識が一層高まりました。県では、そうした意識向上などを、サミット開催で得られた「レガシー（資産）」の一つと考えています。このレガシーをサミット後にも引き継ぎ、発展させ、「県民力でつくる 犯罪や交通事故のない、安全で安心な三重」の実現につなげるため、このたび「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム」を策定することとしました。

このアクションプログラムは、県民や事業者の皆さん自身の「アクション（行動）」により、防犯・交通安全を推進しようとするものです。

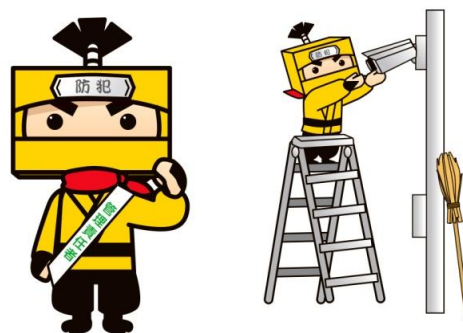
県（知事部局、警察本部等）が、各種事業により防犯・交通安全の推進に取り組んでいくのはもちろんですが、安全で安心な三重を実現するためには、県民・事業者の皆さんのアクションが欠かせません。

皆さんと力を合わせ、＜意識づくり＞＜地域づくり＞＜環境づくり＞の3つの「基本方針」のもと、次の7つの「重点テーマ」に特に重点的に取り組むことで、安全で安心なまちづくりを進めるのが、今回のアクションプログラムです。

それぞれの重点テーマでは、「自宅の防犯力を高める」、「空き家・空き地を適切に管理する」というように、県民・事業者の皆さんに期待するアクションの例を具体的に挙げています。

【7つの「重点テーマ」】

- ① 犯罪被害に遭いにくい生活環境を確保する
- ② 子ども・女性・高齢者を犯罪から守る
- ③ テロ対策を推進する
- ④ IT社会における安全・安心を確保する
- ⑤ 薬物乱用を防止する
- ⑥ 交通事故ゼロ・飲酒運転ゼロをめざす
- ⑦ 犯罪被害者等支援策を充実させる



三重県オリジナル防犯キャラクター
サイボーグ忍者「防犯ミエ丸」

県内には、地域の安全・安心のために日頃取り組んでいただいているボランティアの方が大勢おられ、私たちがまだ知らない独自のアクションが、たくさん展開されているはずだと考えています。

アクションプログラムの策定後には、そうしたアクションの事例を収集し、ウェブサイト等で他地域に展開していきたいと思っています。その意味で、このアクションプログラムは「進化」していくものと考えています。

3つの基本方針のうち、特に「環境づくり」では、地域における防犯設備・機器の整備が大きな役割を持ちます。

犯罪抑止に有効とされる防犯カメラの設置促進などにも、アクションプログラムを生かして引き続き取り組んでいきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■ 協会の活動内容

1. 伊勢まつりで地域安全展ブースに防犯展示



伊勢まつりでの防犯展示・説明

平成28年10月8日（土）から9日（日）開催の伊勢市のイベント「伊勢まつり」において、今年も伊勢度会地区生活安全協会が9日に出品された「地域安全展」に参加させていただきました。地域安全展のブースの一部をお借りして、錠前、サッシなど防犯機器の展示をし、興味をもたれた方に錠前・窓の防犯対策を説明しました。当日午前中は少し雨が残りましたが、昼前からは秋らしい気候となり、イベントの防犯啓発物の配布や、子供向けの飴つかみ、似顔絵コーナーなど大人気で長蛇の列となっており地域安全展の知名度は確実に上がっていると感じました。

（藤村理事記）

2. 松阪ワークセンターイベント会場でガラス割りの実演



ガラス割り実演の様

平成28年10月16日（日）松阪市上川町の「ワークセンター松阪」で行われたワークセンターフェスティバルの会場で防犯機器展示とガラス割りの実演を行いました。当日は、フリーマーケットや模擬店、企業PRなどの出展があり、消防署からは、消防車、起震車、タワー車、警察署からはパトカーなどの展示や乗車体験など盛り沢山で、お天気にも恵まれ大変な盛況でした。三防設は、松阪署のブースを借用し、午前、午後各1回ずつ体験者に女性を募りフロートガラス、網入りガラスと防犯ガラスの破壊強度の違いを体感いただきました。

松吉理事長から侵入盗の実態と無施錠、ガラス破りによる侵入が多いことの説明の後、防護服とゴーグルを着用して実演いただきました。

（事務局 加藤記）

3. 「安心して暮らせるまちづくり」講演会を多気町で開催



講演の様

平成28年11月8日（火）に多気町社会福祉協議会様主催の勉強会で、「安心して暮らせるまちづくり」と題した講演会を開催しました。当日は多気町長 久保行央様をはじめ、民生委員の方々、多気町包括支援センター相談員の方々など、約20名のご参加をいただきました。講演会に先立ち10月下旬に、多気町内をくまなく巡り、多気町の豊かな自然や、土地柄を実感してきました。お話の中で、10月中旬に発生した津南署、松阪署を跨ぐ車上ねらい事案（被害車両20台以上、犯行に使用した車両の火災）などを伝えて、安全なまちにも犯罪が発生する可能性を指摘し、防犯灯や防犯カメラの有効性をお伝えしてきました。

多気町は「ええまち」です。観光名所も多く、波多野の薬草薬樹園や元丈の里、丹生大師などゆったりと散策する場所に事欠きません。歴史好きには篠山城址とゆとり公園がおすすめです。一度お出かけください。

（松吉理事長記）

4. 平成28年度「リーダー養成講座」に参加



犯罪者から身を守る実演

また、犯罪弱者の女性や子供が、不審者に腕をつかまれたり、後ろから抱き着かれた時の対処方法など、犯罪被害に遭わない方法を指導していただきました。
 そのほか、実際の自主防犯活動に工夫を重ねた取り組みの紹介などもあり、防犯意識の啓発にも大きな効果があったと感じました。

(松吉理事長記)

平成28年10月29日(土)三重県津庁舎で三重県主催の「安全安心まちづくり リーダー養成講座」に参加してきました。
 今年のリーダー養成講座は、例年とは一味違ってたくさん勉強させていただきました。
 セルフディフェンスコミュニケーション開発の青嶋宮央先生の講演では、「自主防犯団体の方々が、パトロール中に不審車両を見かけたときの、車両の記憶方法(車両のナンバープレートのうち、ひらがたと最初と最後の数字、それに車両メーカーだけでいい)を覚えてくださいとの事。記憶は曖昧になるのでメモと鉛筆を常に携行してくれば検挙率が上がります。」との事でした。

5. 桑名地区で防犯優良アパート7件名を新規認定



認定された物件の例

名称、所在地等は次の通りです。

(名称)	(所在地)	(物件管理者)
コリーヌ	桑名市青葉町	積和不動産中部株式会社
ヴィラグランデ繋松	桑名市大字矢田	〃
レジデンツィア西河原	桑名市明正町	〃
フォルクローレ	桑名市星見ヶ丘	〃
ナディア長折	桑名市江場	〃
ナディア川成	桑名市大字矢田	〃
リバプールヒルズ	桑名市星見ヶ丘	〃

平成28年10月、桑名市内のアパート5物件と12月、2物件合せて7物件が防犯優良アパートとして認定されました。

平成28年9月に積和不動産中部株式会社の管理する既存アパートの認定申請を受け、共同認定機関(県防連・建築士会・三防設)の各委員により数回の現地審査(昼間および夜間)が実施され、認定委員会での適合判定を経て認定されました。

もともと高い防犯性を備えた物件で、今回は既設に加えて一部に必要な防犯機器が追加された結果の認定となり、平成28年10月1日付と12月5日付けで「三重県防犯優良アパート」の認定証が交付されました。

いずれも非常に高い防犯性を備えた物件で、特に防犯ガラスや防犯カメラが適正に設置されて、見通しや夜間の照度にも優れ、犯罪のない

安全で安心な三重のまちづくりに貢献する物件となっています。

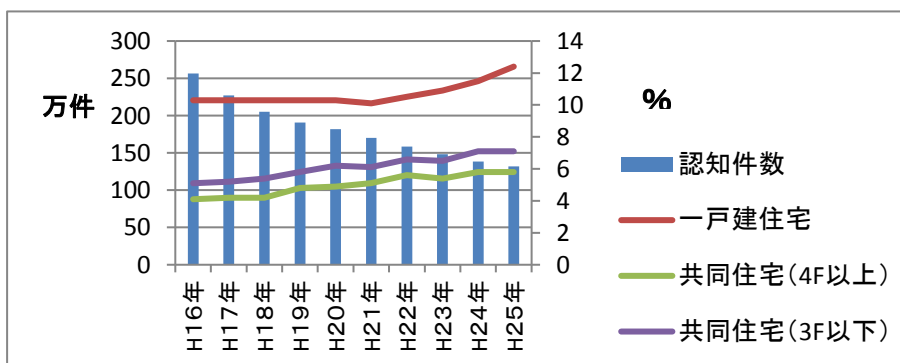
これで昨年、一昨年認定された4物件を含め11件の防犯優良アパートが誕生いたしました。
 認定物件は、三防設ホームページ、防犯優良アパート認定制度ご案内の「認定物件のご紹介」をご覧ください。

(前嶋理事記)

6. 住宅関連会社へ防犯優良アパート認定制度のPR用にDMを実施



防犯優良アパート認定プレート



刑法犯認知件数と住宅内での発生率(住宅内件数/認知件数)

DMによる防犯優良アパート認定制度のご案内は、平成25年防犯優良アパート認定制度開始に当り津市商工会館で開催した制度実施説明会にご出席いただいた住宅関連会社様に下記のような内容で送付いたしました。

最近の刑法犯認知件数は平成14年をピークに減少傾向となっておりますが、住宅における認知件数の割合は前ページ図の通り年々増加傾向をたどっております。

一般的に賃貸集合住宅では、防犯性があまり重要視されておらず、多くの入居者、特に女性、学生のご両親等は犯罪に対する不安感を持っておられます。

このことから住宅侵入犯罪の防止と入居者の安心感を高め、一般アパートとの差別化を図り入居率アップにつながる「防犯優良アパート」の認定取得を改めてお勧めいたします。

住宅設備

- ・防犯ガラス
(一般ガラスの場合ガラス破壊検知または開閉アラーム)
- ・CP錠(玄関)
(CP錠以外の場合、補助錠、ガードプレート、主錠、補助錠のどちらかにピッキング、サムターン回し対策)
- ・サブロック付クレセントと補助錠

追加防犯設備

- ・非常押釦(各戸1カ所、ワイヤレス)
約15,000円
- ・外部警報器(1棟1カ所) 約27,000円
- ・テレビ付インターホン
- ・照明設備(屋内の共用廊下、階段20L x 、
屋外は3L x 、駐車場3L x)

住宅設備が上記の防犯ガラスや補助錠(1ドア2ロック)が設置されていれば、万一侵入された場合の非常警報設備を追加するプラスαの投資で「防犯優良アパート」が取得できることをアピールしております。

■ 今後の活動計画

1. 防犯優良アパート認定制度の運用
2. 防犯優良マンション認定制度の運用
3. 防犯スペシャリスト制度の運用
4. 第三者検証事業の運営
5. 県・県警と連携した防犯講習会開催
6. 学童の安全対策に関する調査・研究
7. 全国地域安全運動への協賛

■ 関連行事・イベント・その他

1. 第11回 都道府県防犯設備士(業)協会全国大会

平成28年11月18日(金)さいたま市の「ラフレさいたま」にて、第11回の全国大会が開催されました。総会に先立ちスキルアップセミナーがありました。内容は最近の犯罪情勢、防犯カメラの現状と問題点、オリンピックに向けたテロ対策です。講師は日防設の特別講師：富田氏。

○総会内容は下記報告します。

代表理事の御挨拶は服部様からバトンタッチした片岡義篤様、来賓の御挨拶は警察庁生活安全局生活安全企画課都市防犯対策官の細川様に頂きました。

議題は・地域協会の設立状況/防犯設備士数・RBS認定の報告、防犯設備士の資格更新について、熊本地震への対応報告、安全安心まちづくり推進要綱の共同住宅に係る防犯上の留意事項に関して等でした。

その後、埼玉・熊本・神奈川の各協会の活動報告があり、「死角を見抜く！」のタイトルで読売防犯協力会の飯室様の講演会で閉会しました。

(宮嶋理事記)

2. 平成28年度第3回犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり推進会議へ出席

平成28年11月16日(水)三重県庁で開催された28年度第3回「犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり推進会議」に参加しました。

今回は「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム」の最終案が審議され了承されました。

三重のまちづくりアクションプログラムは、県を挙げて県民をはじめさまざまな主体と協業し、防犯と交通安全のための取組を総合的かつ横断的に推進していくプログラムで、平成28年度から平成31年度までを第2次行動計画としています。

基本計画では、「意識づくり」「地域づくり」「環境づくり」に向けて、各々具体的な項目ごとに行動計画が示されています。

(松吉理事長記)

商品紹介・一口メモ (三防設通信発送時 カatalog、チラシを同封しております)

- ・美和ロック株式会社
鍵のお取り扱いにご注意ください



は私たちの日常生活に欠かせないものです。お取り扱いには十分に注意して頂き、大切に管理してください。
鍵を紛失した場合はシリンダーを交換しましょう。
特に住所が特定できるものと一緒に紛失した場合は早急にシリンダーを交換することをおすすめします。
第三者に鍵を貸さないようにしましょう。
鍵は他人の目に触れないように管理しましょう。
不用意に机の上等に放置しないようにしましょう。
・鍵はキーケース等に入れ、外から見えないように持ち歩きましょう。

- ・パナソニック株式会社

スマホで「外でもドアホン」



ワイヤレスモニター付テレビドアホン 3-7タイプ
VL-SWH705KL
VL-SWH705KL



【 センサーカメラ・開閉センサー類 】

特長

- ◆外出先のスマートフォンで来客者との応対ができます。
- ◆外出先のスマートフォンで自宅に設置したセンサーカメラ（別売）の映像を確認することができます。
※スマートフォン連携には
①ネットワーク環境が必要です。
②専用アプリのインストールが必要です。
- ◆映像が高精細でキレイ（業界初のH264デジタルクリア信号処理）
- ◆センサーカメラ・開閉センサー等増設で簡単セキュリティー

会員紹介

- ・会員動向 新入会員 2 退会 なし
- ・会員プロフィール紹介



松林 秀典様 NPO法人三重県防犯設備協会 会員
一級建築士 (社) 三重県建築士会会員
防犯設備士 第 16-26512 号
〒514-0821 三重県津市垂水1967番地
(有) 松林工業
059-226-1545
E-mail info@mk-cao.co.jp
HP http://www.mk-cao.co.jp/
趣味 読書 絵本の読み聞かせ

近年、近所づきあいや地域の付き合いが薄れている中で、子供達を守る地域づくりに貢献ができるよう建築の観点と防犯の観点を組み合わせて提案していきたいと思っております。

事務局からのご連絡

- ・次回発行予定 三防設通信は第20号を平成29年8月にお届けの予定です。
 - ・今後「三防設通信」をさらに充実して行くために皆様の建設的なご意見をお待ちしております。
メール/ info@miebouhan.com または下記のFAXにて事務局加藤宛送付いただくようお願い致します。
- 編集責任者 NPO法人 三重県防犯設備協会 〒514-0131 三重県津市あかつ台4-7-7 (三重電業内)
TEL 059-232-0303 FAX 059-232-5586